



2026
5.1

最上町立向町小学校

「思いやり・やる気・元気」は、向町小学校の校訓です

笑顔・挑戦・つながる

～みんなが幸せを感じる学校をめざして～



4月7日の始業式、そして8日の入学式を終え、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。新しい環境にわくわくしている様子がうかがえ、大変うれしく思います。

令和8年度、私たちは、子どもたちが心から「学校に来るのが楽しい!」と思える学校にしたいと考えています。そのために、「笑顔・挑戦・つながる」の3つを柱に据えます。

笑顔

- 相手を思いやる心から生まれる笑顔
- 自分がされて嫌なことは人にしないという姿勢

挑戦

- 失敗を恐れず「やってみよう」と考える探究心の育成
- 学びの出発点となる「どうして?」「なぜ?」の心

つながる

- 適切に依存し、支え合える関係づくり
- 「助けて」「教えて」と言える、安心感に満ちた教室

これらの活動を通して、子どもたちが「大人に言われるからやる」のではなく、自分から進んで学び（主体性）、自分で考えて行動できる（自律）姿を育てていきたいと考えています。



保護者の皆様、地域の皆様、学校、学校に関わってくださる全ての皆様とともに、185名の子どもたちと大人の誰もが幸せを感じられる「居心地のよい学校」をつかっていきたいと思ひます。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

PTA総会でもお話ししたように、お子様のこと、学校のことなど、どんな些細なことでも構いませんので、遠慮なくお話をお聞かせください。

PTA総会・授業参観・懇談会へのご参加 ありがとうございました

4月25日（土）に授業参観、PTA総会、学級・学年懇談会を行いました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。

授業参観でのお子様の様子はいかがだったでしょうか。特に、新入生の保護者の皆様は、期待と不安の両方があったこととお察しします。懇談会では、担任から学級経営方針や1年間の予定をお伝えしました。今年1年、家庭と学校が連携を深め、子どもたちの健やかな成長を支えていければと思います。



ふるさとを学び、授業を創る 一校内研修の取り組み一



本校では、生活科や総合的な学習の時間を中核に、地域に根差した「探究的な学び」の充実を目指しています。4月28日（火）には伊藤勝副町長より、町の歴史や現状、未来への展望について、教員対象の講話をいただきました。

深刻な人口減少という課題の一方で、先人が築いた福祉・医療の先進的な仕組みや地域の誇りを再確認する貴重な機会となりました。この学びを、今後の単元・授業づくりに生かしていきます。

りに生かしていきます。

4月30日（木）には、担任が町内を巡る「地域巡検」を行いました。自らの足や目で確かめた町の魅力を、子どもたちの「知りたい・やってみたい」という意欲につなげ、地域を愛し、自ら考える力を育む授業づくりに、全職員で取り組んでいきます。

PTA総会で出たご質問について、改めてお答えします

Q 学習発表会が、平日（金曜日）に行われるようになったのは、どうしてですか？

A お仕事等の調整が必要となる中、ご負担をおかけしていることとなり、申し訳ございません。保護者から、「大切な行事なので、休日に家族で参観したい」という声もいただきました。

私たちは、子どもたちには、週末は「家族の団らん」や「スポーツ少年団の活動」「習い事」「地域の行事」など、家庭や地域で過ごす時間に充てていただきたいと考えています。現在、最上地域をはじめ全国的にも、暦通り（週5日制）の教育課程（計画）を編成する流れになっています。平日に学校での学びを完結させ、週末にしっかりと休養をとることは、子どもの学習・生活リズムを整える上で大きな教育的意義があります。今後も、学校と家庭の時間のバランスを整え、よりよい教育環境づくりを進めていきます。何卒、本趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。